

## オーディオ実験室収載

### STAGE+を楽しむ(55)(HP 収載) —バッハ・ジェネレーションズ—

#### 1. 始めに

前報(54)に引き続き、STAGE+の演奏の試聴を実施します。

#### 2. 試聴音源

今回は、バッハ・ジェネレーションズというアルバムの演奏を選びました。

バッハ・ジェネレーションズ

アルブレヒト・マイヤー, ベルリン・バロック・ゾリステン

曲目:

ヨハン・セバスティアン・バッハ チェンバロ協奏曲 第4番 イ長調 BWV1055  
(オーボエ・ダモーレ&バロック・アンサンブル編)

ヨハン・セバスティアン・バッハ 管弦楽組曲 第3番 ニ長調 BWV1068  
エア (管弦楽組曲 第3番 ニ長調 BWV1068 より第2曲)  
(コーラングレ&弦楽編)

ヨハン・セバスティアン・バッハ 管弦楽組曲 第2番 ロ短調 BWV1067  
バディネリ (管弦楽組曲 第2番 ロ短調 BWV1067 より第7曲)  
(M.シュピンドラーによるオーボエ&弦楽編)

ヨハン・クリストフ・フリードリヒ・バッハ  
鍵盤楽器のための協奏曲 第2番 イ長調  
(M.シュピンドラーとA.マイヤーによるオーボエ&弦楽編)

ゴットフリート・ハインリヒ・シュテルツェル  
あなたがそばにいてくだされば  
(オーボエ、ヴァイオリン&弦楽編)

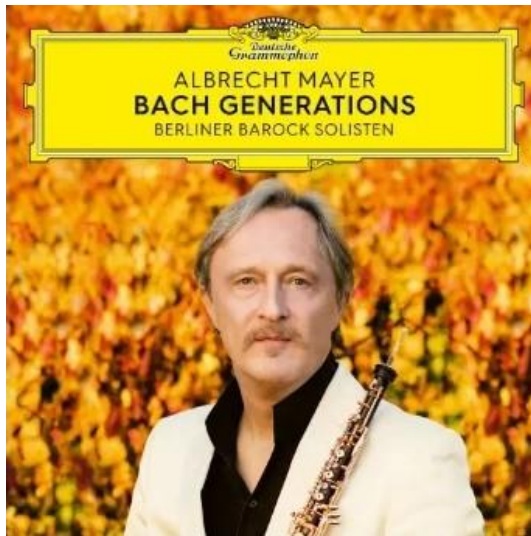
ゴットフリート・フォン・デア・ゴルツ

ヨハン・セバスティアン・バッハ 復活祭オラトリオ BWV249  
私の死の憂いは和らぎ  
(オーボエ・ダモーレ、2つのリコーダー&弦楽編) 06:28

カール・フィリップ・エマヌエル・バッハ チェンバロ協奏曲 ト長調  
(M.シュピンドラーとA.マイヤーによるオーボエ&弦楽編)

ヨハン・クリストフ・バッハ  
ああ、私の頭が水で満ちていたなら (ラメント)  
(M.シュピンドラーによるコーラングレ、ヴァイオリン&弦楽編)

ゴットフリート・フォン・デア・ゴルトツ



### 3. 試聴の経過

バッハ・ジェネレーションズというタイトルでバッハ一族の作品を収録しています。その一部は、ライブのアーカイブについて [STAGE+を楽しむ\(33\)](#)で報告している演奏と重複しています。

曲目は、バッハ一族のヨハン・セバスティアン・バッハとヨハン・クリストフ・バッハとカール・フィリップ・エマヌエル・バッハの曲で、オーボエを中心にした編曲の演奏です。

前報(33)で、「オーボエの音はもちろん、アンサンブルの各パートの音もクリアーで、パッケージメディアでは味わえないステージ感のリアルさがあります。」と述べましたので、ライブ収録とアルバムの比較という意味で、映像付きのライブ収録も試聴してみました。

本アルバムは、オーボエやコーラングレもアンサンブルの各パートの音もクリアーで解像度も良好です。

一方、映像付きのライブ収録は、同様の音質ですが、鮮度感で本アルバムを上回りますし、映像による視覚の助けで演奏の様子が分かるメリットがあります。

### 4. まとめ

以上の STAGE+配信は、追加の LAN iSilencer の効果も加わって、鮮度感では映像付きのライブ収録に及ばないところがありますが、アルバムでもクリアーな音質でリアル感が味わえます。このように映像付きのライブ収録とアルバムが並行して配信されることは意義あることです。

以上